

中小企業省力化投資補助事業

製品カテゴリ

令和6年8月16日

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

目次

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス	
A	清掃ロボット	5	飲食サービス業、宿泊業、製造業、卸売業、小売業	清掃業務	3
B	配膳ロボット	2	飲食サービス業、宿泊業、製造業、卸売業	配膳業務、搬送業務	5
C	自動倉庫	1	倉庫業、卸売業、小売業、製造業	保管・在庫管理、入出庫	7
D	検品・仕分システム	2	倉庫業、卸売業、小売業、製造業	資材調達、加工・生産、検査、保管・在庫管理、入出庫	9
E	無人搬送車 (AGV・AMR)	5	倉庫業、卸売業、小売業、製造業	資材調達、加工・生産、検査、保管・在庫管理、入出庫	11
F	スチームコンベクション オープン	72	飲食サービス業、小売業、宿泊業	調理	13
G	券売機	35	飲食サービス業	注文受付、請求・支払、顧客対応	15
H	自動チェックイン機	3	宿泊業	受付案内、予約管理、請求・支払、顧客対応	17
I	自動精算機	2	飲食サービス業、小売業	請求・支払、顧客対応、注文受付	19
J	タブレット型給油許可 システム	7	小売業	給油	21
K	オートラペラー	3	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	加工・生産、梱包・加工、保管・在庫管理	23
L	飲料補充ロボット	0	小売業	飲料補充業務	25
M	デジタル紙面色校正装置	0	印刷・同関連業	印刷	27
N	測量機	0	建設業、専門・技術サービス業	調査・測量、施工、検査	29
O	丁合機	0	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	加工・生産、梱包・加工、出荷、販売・納品	31
P	印刷用紙高積装置	0	印刷・同関連業	印刷	33
Q	インキ自動計量装置	0	印刷・同関連業	印刷	35
R	段ボール製箱機	0	製造業	加工・生産	37
S	近赤外線センサ式 プラスチック材質選別機	0	製造業、廃棄物処理業、卸売業	分別業務	39
T	デジタル加飾機	0	製造業	加工・生産	41

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス	
U	印刷紙面検査装置	0	製造業	検査	43
	総件数	137			

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

A

清掃ロボット

5件

飲食サービス業、宿泊業
製造業、卸売業、小売業

清掃業務

2024年8月15日時点

例えばこんな場面で、

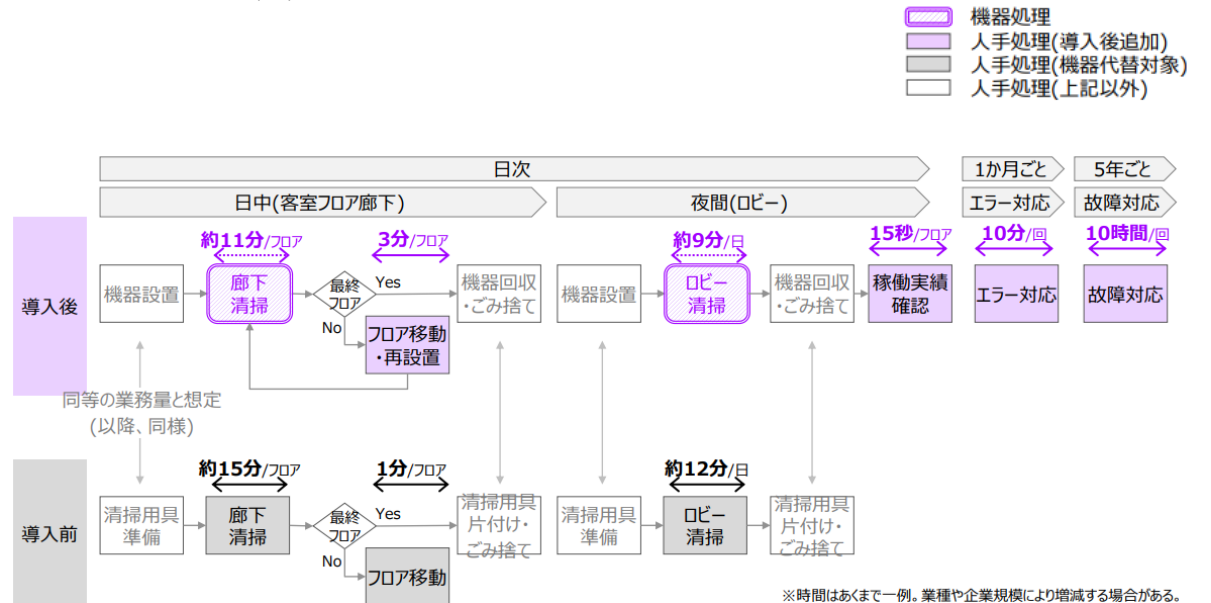
- 清掃員が作業していた清掃業務を自動で動く清掃ロボットが担います。
- 人や障害物を避けながら、廊下やロビーなどの床面を清掃をすることが可能です。

活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化 (例)



製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

A

清掃ロボット

5件

飲食サービス業、宿泊業
製造業、卸売業、小売業

清掃業務

2024年8月15日時点

製品カテゴリの概要

自律走行で床を清掃（湿式、乾式等）するロボット。各種センサにより、人や障害物を回避しながら清掃可能。

主に利用が想定される中小企業

主に宿泊業、飲食サービス業などの清掃業務が発生し、従業員による清掃作業を行っていた事業者。

省力化効果

人手により実施している清掃業務を清掃ロボットが代替することにより、清掃業務の省力化が期待できる。具体的には、例えば、導入前に要していた廊下やロビーの清掃にかかる業務が、当該製品カテゴリの導入により大幅に機器に置き換わり、当該業務の人手による作業を削減できるため、大きな省力化効果が見込める。

価格と導入費用（目安）

数百万円程度で導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

- 掃除機での清掃と比べて、大幅にコスト削減効果を得られた事例も。

（製品イメージ）（例）



©IRIS OHYAMA / SoftBank Robotics

※無断転載を禁ず

※上記写真は市販製品の一例（乾式清掃ロボット）であり、今後、メーカー等からの申請によりカタログに掲載される製品が決定・公開されます。
※本資料で示す業務プロセスや事例・効果の例は、上記製品以外の市販製品を含む一般的な例としてお示しするものです。

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

B

配膳ロボット

2件

飲食サービス業、宿泊業、
製造業、卸売業

配膳業務、
搬送業務

2024年8月15日時点

例えばこんな場面で、

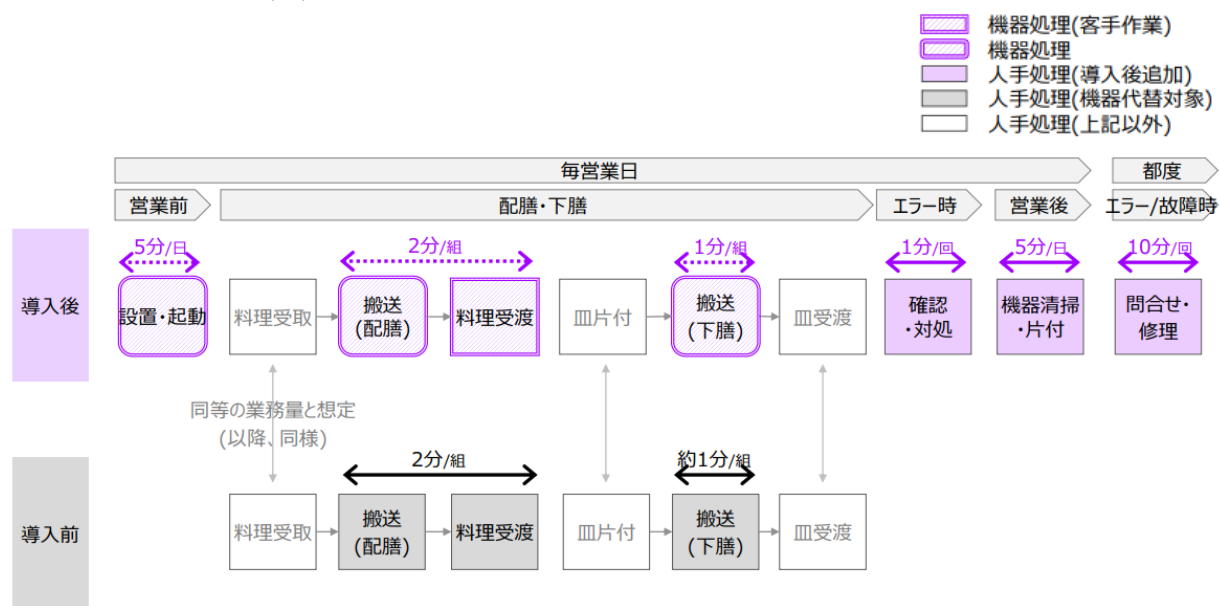
- 飲食店等では、店員が行っていた配膳や下げ膳を自動配膳ロボットが担います。
- 工場や物流倉庫では、従業員が行っていた部品などの搬送を担います。
- 人や障害物を自律的に避けながら、トレーに乗せて運びます。

活用イメージ



無断転載を禁ず

業務プロセスの変化 (例)



※時間はあくまで一例。業種や企業規模により増減する場合があります。

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

B

配膳ロボット

2件

飲食サービス業、宿泊業、
製造業、卸売業

配膳業務、
搬送業務

2024年8月15日時点

製品カテゴリの概要

各種センサにより人や障害物を回避しながら自律走行により料理や飲み物等（工場や物流倉庫では、物資・部品や梱包物等）を人に代わって配膳するロボット。

主に利用が想定される中小企業

店舗や工場等での配膳業務や搬送業務を人手により行っていた事業者。

省力化効果

人手により実施している配膳業務や搬送業務を配膳ロボットが代替することにより、配膳業務の省力化が期待できる。具体的には、例えば、導入前に要していた配膳・下膳、搬送にかかる業務が、当該製品カテゴリの導入により大幅に機器に置き換わり、当該業務は人手による作業を削減できるため、大きな省力化効果が見込める。

価格と導入費用（目安）

数十～数百万円程度で導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

- 例えば、飲食店ではテーブルの片づけが終わらずに客が入れない場合があるが、配膳ロボットを導入することで従業員がテーブルの片づけ作業に注力できる場合も。
- 工場では、工程間の部品や工具、完成品の運搬などを配膳ロボットが代替することにより、従業員は製造工程での作業に注力できる。

（製品イメージ）（例）



（SOCIAL ROBOTICS株式会社）

※無断転載を禁ず

※上記写真は市販製品の一例であり、今後、メーカー等からの申請によりカタログに掲載される製品が決定・公開されます。
※本資料で示す業務プロセスや事例・効果の例は、上記製品以外の市販製品を含む一般的な例としてお示しするものです。

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

C

自動倉庫

1件

倉庫業、卸売業、小売業、製造業

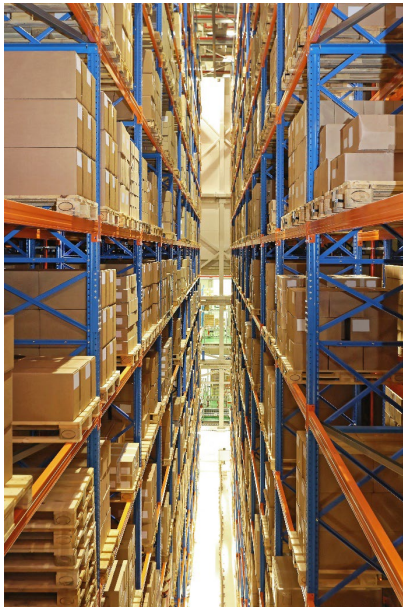
保管・在庫管理、入出庫

2024年8月15日時点

例えばこんな場面で、

- 製造業の工場や倉庫において、従業員が棚からの出し入れを人力で行っていたところ、自動倉庫では荷渡し装置に置くだけで、棚の中に自動で搬送してくれます。
- 保管場所を探すのにかかっていた時間も、自動倉庫ではロケーション管理、在庫管理、日付管理の自動処理が可能なので、大幅に効率化されます。

活用イメージ

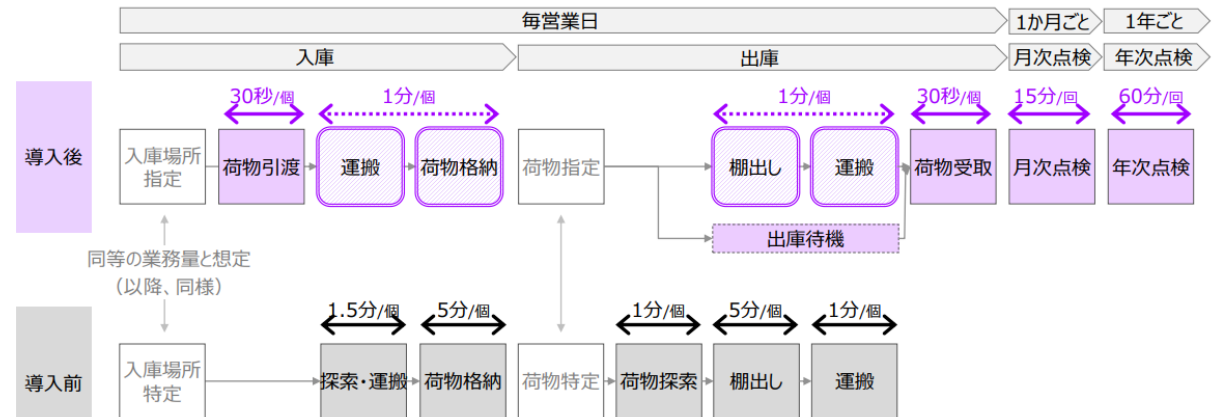


※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化 (例)

例えば、1個あたり13.5分かかっていた入出庫の作業が3分に。

- 機器処理
- 人手処理(導入後追加)
- 人手処理(機器代替対象)
- 人手処理(上記以外)



※時間はあくまで一例。業種や企業規模により増減する場合があります。

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

C

自動倉庫

1件

倉庫業、卸売業、小売業、製造業

保管・在庫管理、入出庫

2024年8月15日時点

製品カテゴリの概要

自動倉庫は、パレットやケース、コンテナを自動的に入出庫・保管できる製品。保管する棚、出し入れする機械、前後の荷受け・荷渡し装置で構成され、コントロール、管理するシステムも含む。

主に利用が想定される中小企業

製造業、倉庫業、卸売業、小売業などで、入出庫や在庫管理を人力で行っていた事業者。

省力化効果

荷渡し装置に置くだけで、棚の中に自動で搬送してくれるなど、入出庫作業が自動化。人手による作業は、自動倉庫の出入口までとなり、保管管理は自動となるため、作業時間の短縮が可能となる。また、ロケーション管理、在庫管理も、先入れ先出し、日付管理の自動処理が可能。さらに、空棚の探査、保管記録の自動化などもシステム化され、より正確且つ簡便な作業が可能に。加えて、作業者に経験が無くても研修1時間後には作業ができるようになる効果も。

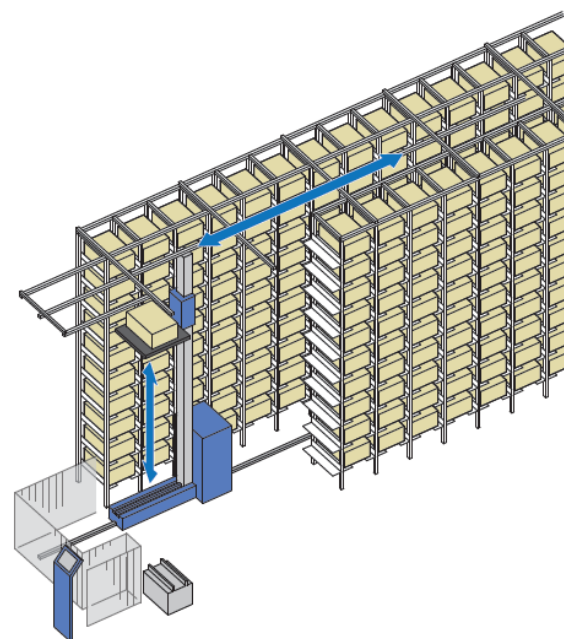
価格と導入費用（目安）

小型のものは二千万円程度からでも導入可能。

活用事例・ポイント

- 庫内の通路幅を極限まで狭くでき、かつ高積みが可能となるため空間効率の向上に寄与する。
- 煩雑な入出庫や在庫などの管理が自動化され、高速に入出庫が可能となることで、ミスなく生産性の向上が見込まれる。
- 自動機による庫内管理となるため、庫内照明が不要となるだけでなく、庫内移動時の回生エネルギーを活用するなど省エネ効果を有する機種もある。

（製品イメージ）



※無断転載を禁ず

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

D

検品・仕分システム

2件

倉庫業、卸売業、小売業、製造業

資材調達、加工・生産、検査、
保管・在庫管理、入出庫

2024年8月15日時点

例えばこんな場面で、

- 製造業の工場や倉庫において、従業員がリストを見ながら目視で検品・仕分を行っていたところ、製品の導入により目視で確認する工程を無くし、仕分けに係る無人化を実現。
- 人手作業の場合、どうしてもなくなる「ミス」を自動化により低減。

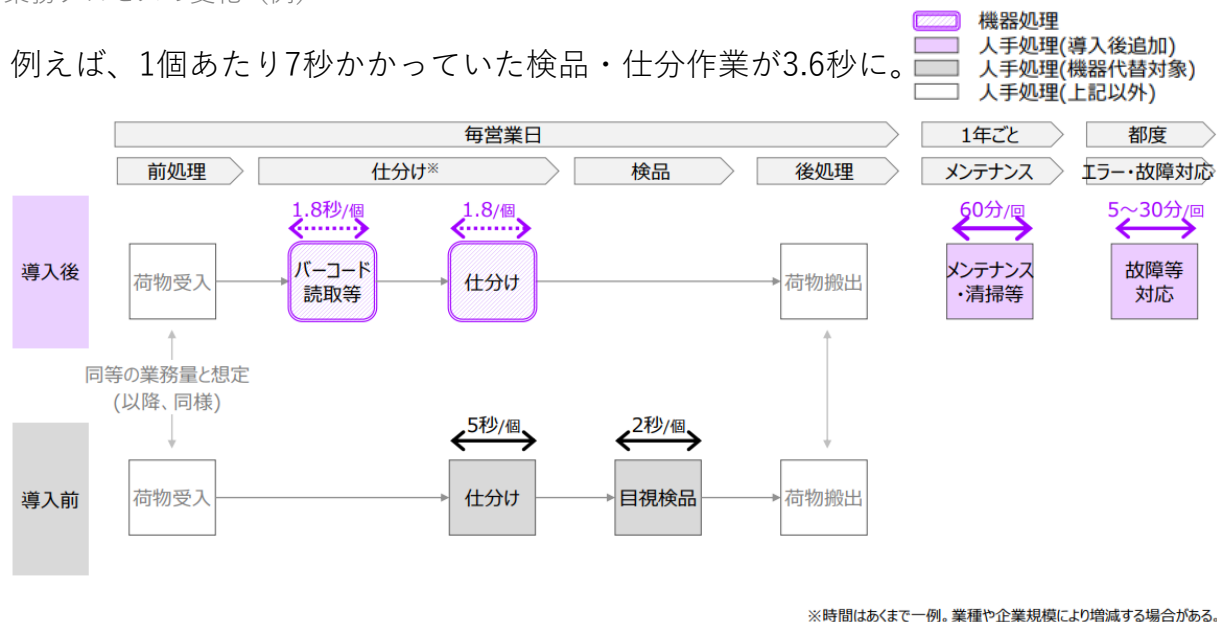
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

例えば、1個あたり7秒かかっていた検品・仕分作業が3.6秒に。



製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

D 検品・仕分システム 2件 倉庫業、卸売業、小売業、製造業

2024年8月15日時点

製品カテゴリの概要

検品と仕分が一体で完成するシステムにより、目視で確認し仕分ける工程を無くし、仕分や検品にかかる自動化を実現する製品。

主に利用が想定される中小企業

製造業の工場や、倉庫業、卸売業、小売業の倉庫などで、目視等の人手による製品の検品や仕分業務を行っていた事業者。

省力化効果

仕分リストを見ながら目視で確認する工程を無くし、仕分に係る無人化を実現できるので、物品の投入や、仕分けられた物品の処理に関して、手作業だけの場合と比較し大幅な業務効率化を実現。具体的には、自動仕分けを導入することにより、人出作業では1時間当たり40行（アイテム）～60行のところ、2～3倍の効率化が可能。

また、検品と仕分をつなぐことで、一連の情報受け渡しが可能になり、間に人を介すことなく自動で処理できる。

さらに、作業者に経験が無くても1時間程度の研修で仕事ができる。

加えて、人手作業の場合、どうしてもなくなる「ミス」を自動化により低減できる。人出作業では1時間当たり最大ミス率1,000分の1の発生率と言われるが、仕分け装置の導入により10倍以上となる10,000分の1以下の実現が可能となる。

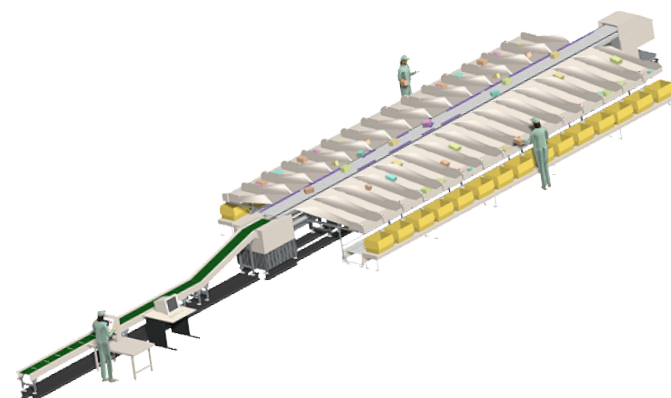
価格と導入費用（目安）

製品の規模により大きく異なるが、数百万円から一千万円程度～でも導入可能。

活用事例・ポイント

- 「ミス」を自動化により低減でき、お客様との信頼関係も向上。
- 物流センターや、入荷後すぐに出荷する通過型物流センターでの利用、返品商品の仕分けなどにも使用されているケースもある。

（製品イメージ）



※無断転載を禁ず

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

E

無人搬送車 (AGV・AMR)

※Automatic Guided Vehicle, Autonomous Mobile Robot

5件

倉庫業、卸売業、小売業、製造業

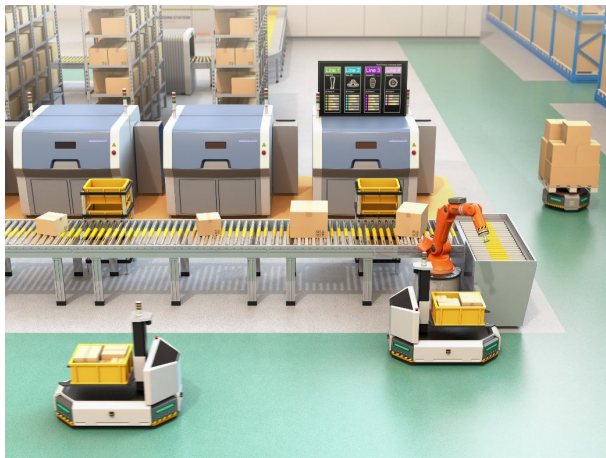
資材調達、加工・生産、検査、
保管・在庫管理、入出庫

2024年8月15日時点

例えばこんな場面で、

- 台車の自動化機器、製造業の工場や倉庫において、従業員が人手による手押し台車等での搬送を行っていたところ、無人搬送車はルート等を設定するだけで自動で搬送が可能。
- 搬送ミスの低減や作業ムラが無くなることにより、処理スピードや処理精度が向上。

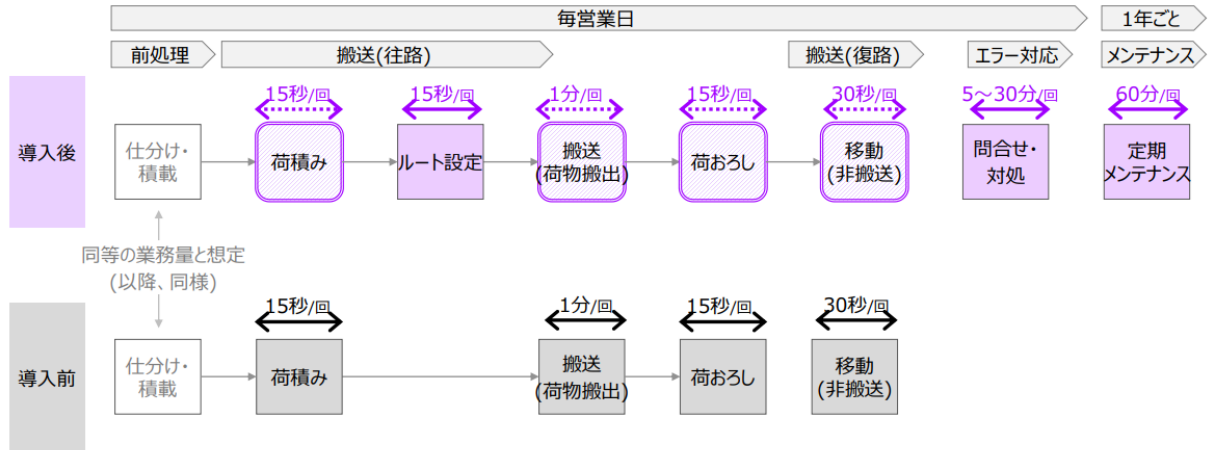
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化 (例)

例えば、1回あたり2分かかっていた荷物の搬送作業の人手が15秒に。



※時間はあくまで一例。業種や企業規模により増減する場合があります。

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

E

無人搬送車 (AGV・AMR)

※Automatic Guided Vehicle,
Autonomous Mobile Robot

5件

倉庫業、卸売業、小売業、製造業

資材調達、加工・生産、検査、
保管・在庫管理、入出庫

2024年8月15日時点

製品カテゴリの概要

自動で走行する車両または台車で、もの（パレット、ケース、台車など）を移載やけん引できる機能を有し、自動で搬送が行える製品。

位置の認識やルートについては、機器に組み込まれたマップ、決められた位置情報やルートに基づき、自動で移動が可能。

主に利用が想定される中小企業

製造業の工場や、倉庫業、卸売業、小売業の倉庫などで、人手によるフォークリフトや手押し台車等での搬送を行っていた事業者。

省力化効果

人手によるフォークリフトや手押し台車等での搬送から、電子的指示による自動搬送がとなるため、搬送作業の無人化が可能。重量物の運搬に関して、人間の手で行う必要がなくなり、転倒などによる事故率の低減や作業者への負担が大きく減少。

また、搬送ミスの低減や作業ムラが無くなることによる処理スピードや処理精度の向上にも寄与する。

さらに、物品の位置情報や移動結果等の運搬状況がリアルタイムで把握でき、搬送物の正確な管理ができる。

運搬作業やその作業教育に掛かる人件費・作業者の安全対策等の備品購入費などについてのコスト削減が可能となる。

価格と導入費用（目安）

製品の規模により大きく異なるが、数百万円から一千万円程度～でも導入可能。導入先にてAGV・AMRの稼働スペースが確保されている場合は、必要な作業はおおまかな運搬ルートの指定、搬送物の似姿や重量の計測程度。

活用事例・ポイント

- 例えば、自動倉庫から出庫された商品を自動で次の工程まで運搬することが可能。搬送できるのはケースだけで無くカゴ車や棚など、使用環境やニーズによって設定可能であり往復で別のものを搬送することも可能。
- 運搬作業の指示や状況に合わせた変更をタブレット端末にて行い、すべての搬送作業を終えたら自動で充電場所まで戻る機種も。
- 人に追従して複数台の台車を効率良く運搬できる機能も。

（製品イメージ）



※無断転載を禁ず

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

F

スチームコンベクション
オーブン(プログラム機能付き調理器具)

72件

飲食サービス業、小売業、宿泊業
(規模問わず調理が行われている場所)

調理

2024年8月15日時点

例えばこんな場面で、

- 飲食店のシェフがフライパンで調理していたものが、焼く、蒸す、煮る、炊く、炒めるなどの調理を全てスチームコンベクションオーブンが担います。
- 例えばローストビーフは、熟練の料理人が約2時間の間付き切りだったが、当該製品はボタンを押せば後は待つだけ。

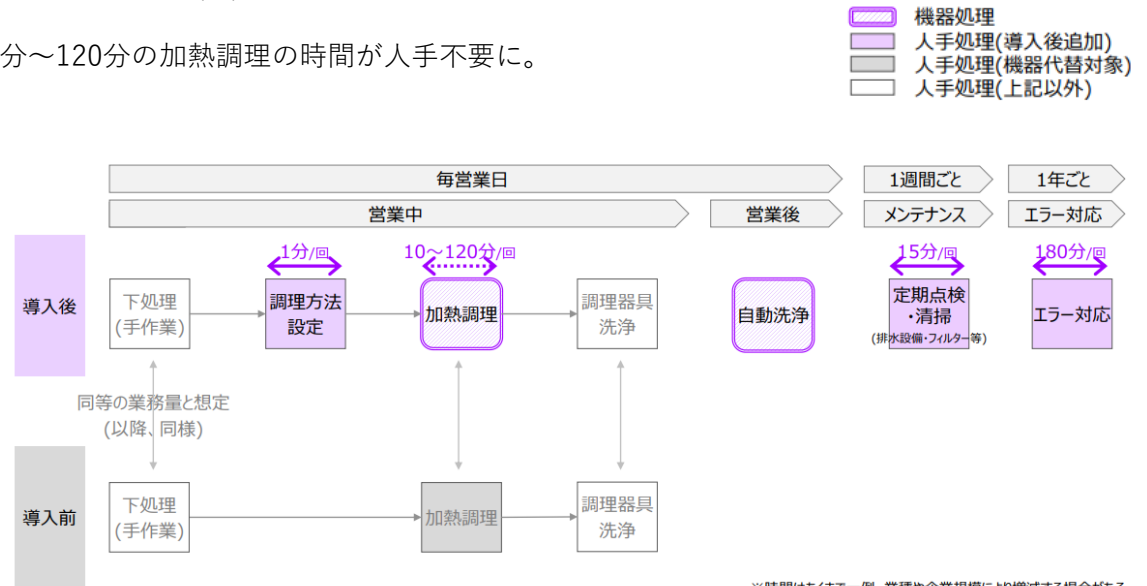
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化 (例)

10分~120分の加熱調理の時間が人手不要に。



製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

F

スチームコンベクション
オーブン(プログラム機能付き調理器具)

72件

飲食サービス業、小売業、宿泊業
(規模問わず調理が行われている場所)

調理

2024年8月15日時点

製品カテゴリの概要

プログラム機能を持ち、料理、食材ごとの加熱時間、温度等を登録でき、使用する人間を問わず調理を任せられる製品。原理としては、コンベクションオーブン（ファンにより熱風を強制対流させるオーブン）とは、蒸気発生装置を取り付け、熱風、水蒸気、熱風＋水蒸気を利用することにより、焼く、蒸す、煮る、炊く、炒めるなど多様な加熱調理を1台で担うことができる。

主に利用が想定される中小企業

フライパンでの調理等、加熱調理（焼く、蒸す、煮る、炊く、炒めるなど）を人手により行っていた宿泊・飲食店等の事業者。

省力化効果

導入前に要していた人手による加熱調理にかかる業務が、当該製品カテゴリの導入により完全に製品に置き換わる。さらに、空気よりも熱容量の大きい水蒸気を利用し、従来のオーブンよりも速く食材を調理することが可能。（時間の短縮）また、加熱時間、加熱温度、加熱方法等がプログラムできるので、経験の浅いスタッフでも熟練の技を再現可能。（人材不足への対応）

価格と導入費用（目安）

数百万円程度で導入可能。設置費用は数十万円程度で、基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

- 例えば、ローストビーフに関してはおおよそ2時間の間熟練の料理人が付きっきりで作る必要があったが、その必要がなくなる。
- 営業中はオーブンとして、魚のグリルを焼く、ケーキを焼く等様々なユースケースで使用される。
- 肉のうまみをうまく閉じ込めて調理できるなどの料理の品質向上がはかれる。また、内部温度を検知して自動で温度調整を行うため、熟練したスタッフの調理を経験の浅いスタッフでも再現することができる。
- 食材の歩留まりの減少幅が抑えられる。

(製品イメージ)



※無断転載を禁ず

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

G

券売機

35件

飲食サービス業

注文受付、
請求・支払、顧客対応

2024年8月15日時点

例えばこんな場面で、

- 飲食店において、従業員が事前オーダー方式でお客様の注文を受け付けていたところ、券売機で自動化が可能です。
- さらに、キャッシュカウント機能を具備していれば、売上計上作業や売上金と釣銭準備金を分けるなどの経理業務が不要に。

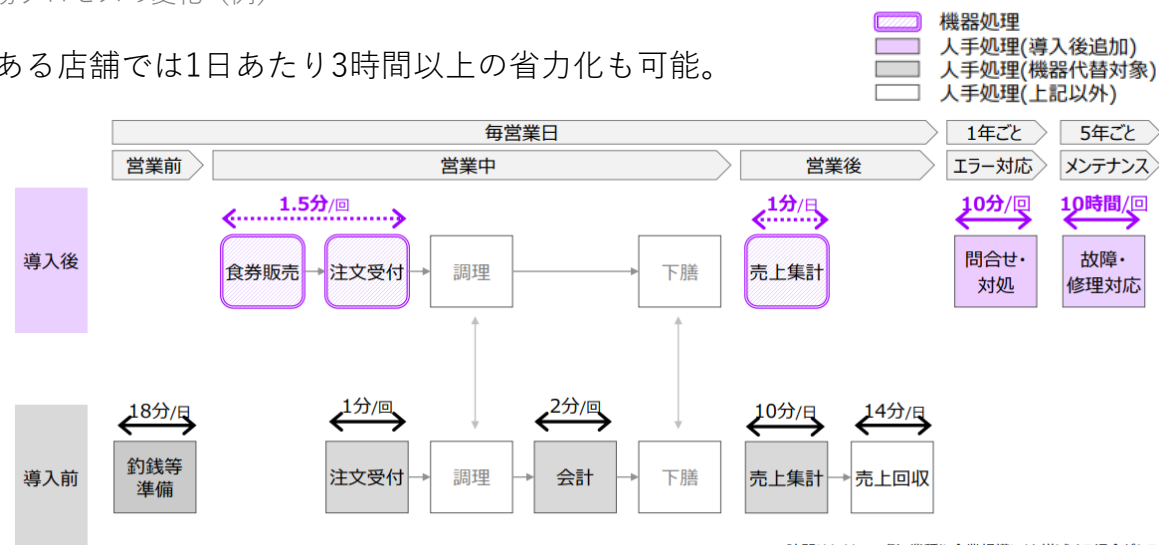
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化 (例)

ある店舗では1日あたり3時間以上の省力化も可能。



製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

G

券売機

35件

飲食サービス業

注文受付、
請求・支払、顧客対応

2024年8月15日時点

製品カテゴリの概要

注文受付、券類の発行、支払・決済業務を自動的に行う製品。

主に利用が想定される中小企業

主に従業員による事前オーダー方式で注文を受け付けていた飲食店等の事業者。

省力化効果

従来の従業員による事前オーダー方式ではなく、チケット（食券）販売機で無人化対応することで効率化を図り、店舗全体の生産性向上に貢献することができる。
さらに、キャッシュレス会計に対応することで、お客様（インバウンド向けに言語対応済）へのサービス向上と企業での金銭管理に要する業務の省力化に大きく貢献。

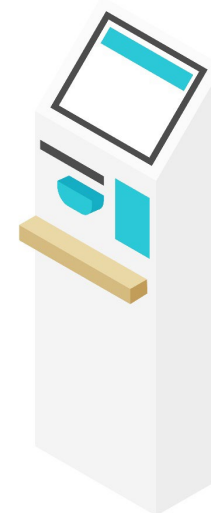
価格と導入費用（目安）

数十万～数百万円程度で導入可能。設置費用は数万～数十万円程度。
初期設定を行えばすぐに稼働ができる。

活用事例・ポイント

- 一例として、1店舗当たり1日3時間以上の業務が削減された事例も。また、呼び出しシステムの採用により配膳と下げ膳をセルフにした場合は、1店舗当たり5時間以上の業務が削減された事例も。
- 現金の取り出しが困難になることでセキュリティが強化され、現金不正の可能性を減らすことで従業員が疑われるような機会を減らし、職場環境が改善されるケースも。
- 外国語対応であれば旅行者への対応の負担も減少。

（製品イメージ）



※無断転載を禁ず

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

H

自動チェックイン機

3件

宿泊業

受付案内、予約管理、請求・支払、顧客対応

2024年8月15日時点

例えばこんな場面で、

- 旅館やホテルにおいて、チェックインのフロント業務が自動化。
- 集中するチェックイン時間帯の混雑を軽減。

活用イメージ

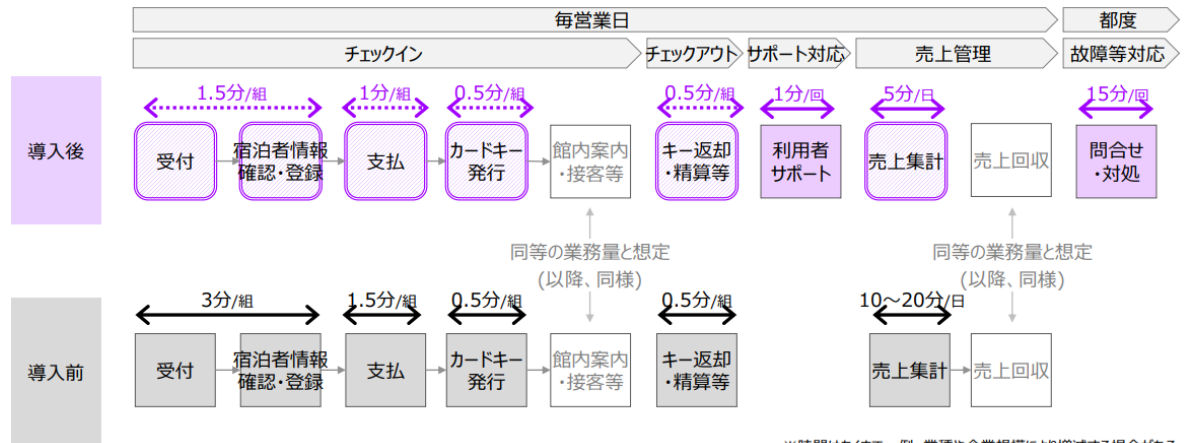


※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

200室以上500室未満の店舗では、年間2,000～6,000時間分の省力化も可能。

 機器処理
 人手処理(導入後追加)
 人手処理(機器代替対象)
 人手処理(上記以外)



製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

H

自動チェックイン機

3件

宿泊業

受付案内、予約管理、
請求・支払、顧客対応

2024年8月15日時点

製品カテゴリの概要

チェックイン機能、精算・会計機能を有し、顧客が自動でチェックインを行えるようになる製品。
チェックアウト機能、カードキー発行機能を有し、これらを自動化できる製品も。

主に利用が想定される中小企業

従業員が対面でチェックイン・アウト業務、請求・支払い業務、カードキー発行業務等を行っている旅館・ホテル等の宿泊業の事業者。
チェックイン手続きの多さが省力化効果の高さに直結するため、客室が数十部屋以上の施設の方がより望ましい。

省力化効果

自動チェックイン機を導入することにより、これまで対人で対応していたチェックイン・アウト業務、請求・支払い業務、カードキー発行業務等を自動化し、フロント業務の負荷低減や省力化に貢献。また、自動化により客室のアサインミスや接客トラブル、金銭トラブルを削減できることで生産性が向上。
カードキー発行や精算・会計対応等も自動化できる製品であれば、当該業務は自動化される。

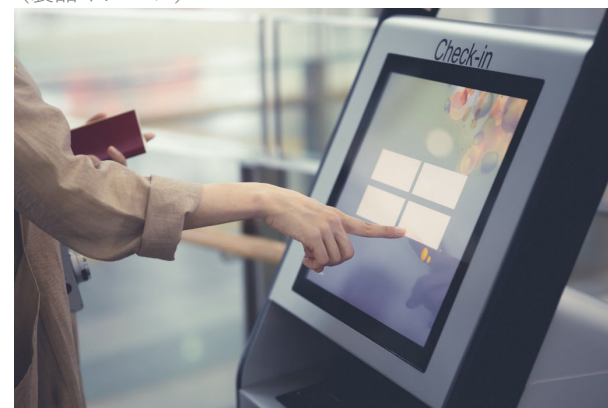
価格と導入費用（目安）

数百万円程度で導入可能。設置費用は数十万円程度。
初期設定を行えばすぐに稼働ができる。

活用事例・ポイント

- ヒューマンエラーおよび接客時の金銭トラブルが削減。
- 窓口対応に割いていた人員を他の作業に回すことで顧客満足度も向上が期待できる。
- 顧客情報やパスポート情報のペーパーレス化による環境への配慮も。

（製品イメージ）



※無断転載を禁ず

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

I

自動精算機

2件

飲食サービス業、小売業

注文受付、請求・支払、顧客対応

2024年8月15日時点

例えばこんな場面で、

- 飲食店や小売店において、店員が対面で商品登録、決済処理を行っていたところ、自動精算機の導入により会計処理にかかる時間が削減されます。
- 会計処理以外にも、例えば、オープン前の現金管理、レジ点検、閉店時の売上金の回収などの業務が削減されます。

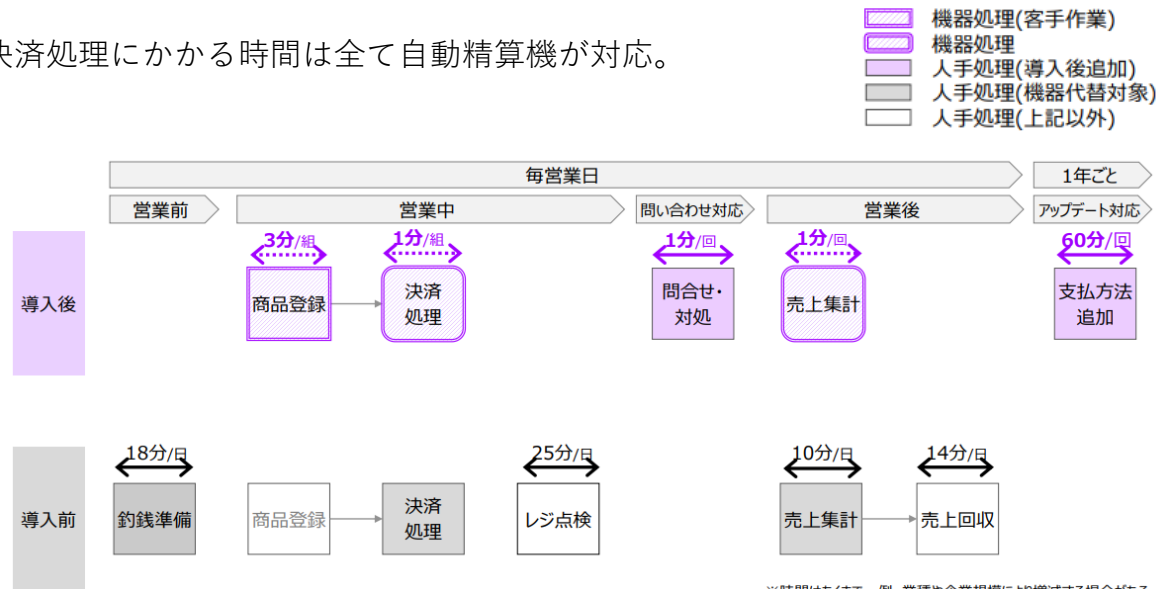
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化 (例)

決済処理にかかる時間は全て自動精算機が対応。



※時間はあくまで一例。業種や企業規模により増減する場合がある。

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

1

自動精算機

2件

飲食サービス業、小売業

注文受付、
請求・支払、顧客対応

2024年8月15日時点

製品カテゴリの概要

主に商品販売時及びサービス提供時における支払・精算対応又はつり銭等現金の受け渡しを自動的に行う製品。

主に利用が想定される中小企業

対面による精算業務を行っていた飲食サービス業、小売業等の事業者。

省力化効果

従来は対面による精算業務を行っていたところ、自動精算機を導入することによって精算業務を自動化。
また、つり銭の準備、締め処理について、金銭の確認に時間を要していたところ、精算機導入によって、時間短縮が可能に。

価格と導入費用（目安）

数十万～数百万円程度で導入可能。設置費用は数万～数十万円程度。
初期設定を行えばすぐに稼働ができる。

活用事例・ポイント

- 手動による現金の取り扱いが減るため、ヒューマンエラーによる過不足金の計算がなくなる。
- 入出金のデータの蓄積により、準備金の圧縮が可能に。
- 現金の取扱にかかる教育時間が、一例として月あたり5時間から3時間に削減。

（製品イメージ）



※無断転載を禁ず

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

J

タブレット型給油許可システム

7件

小売業（ガソリンスタンド）

給油

2024年8月15日時点

例えばこんな場で、

- セルフ式ガソリンスタンド（顧客自らが給油するガソリンスタンド。以下、セルフSS）において、事務所内でしかできなかった給油許可が事務所内に限らずSS敷地内であれば可能になり、給油許可専用のスタッフを事務所内に常駐させる必要がなくなります。
- スタッフが他の業務に従事しながら給油許可ができるようになるため、待機時間の削減および人時生産性の向上が見込めます。

活用イメージ

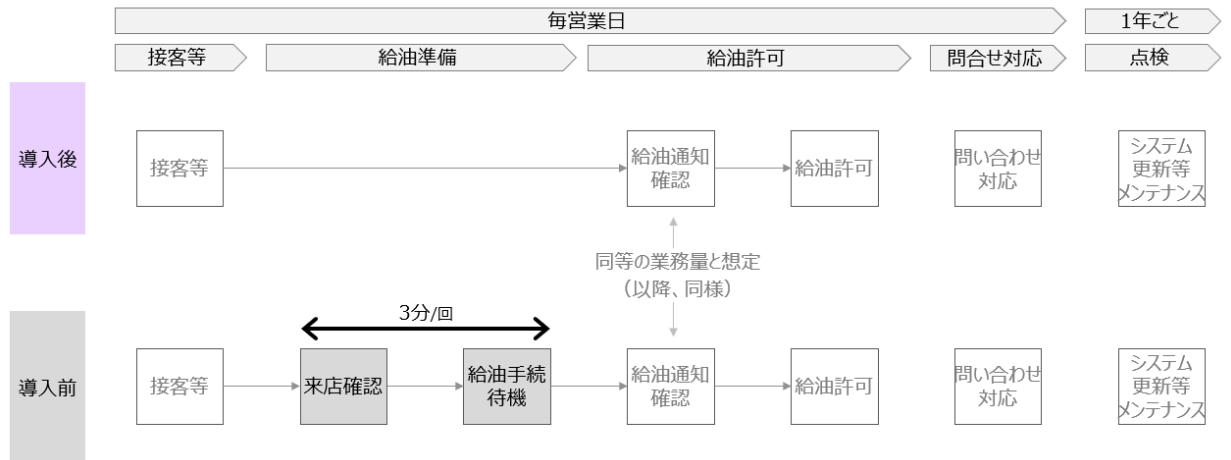


※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

来店確認、給油手続き待機が不要になります。

<セルフSSの場合>



製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

J

タブレット型給油許可システム

7件

小売業（ガソリンスタンド）

給油

2024年8月15日時点

製品カテゴリの概要

セルフSSにおいて、来店客に対して行う給油許可行為をSS事務所内システム（固定式）とタブレット型システムを連動させることにより、タブレット型給油許可システムを用いて、事務所内に限らずSS敷地内であれば給油を許可することが可能となるシステム。

主に利用が想定される中小企業

主に給油許可専用のスタッフを事務所内に常駐させていたセルフSSの事業者。

省力化効果

SS事務所内でしかできなかった給油許可が、事務所内に限らずSS敷地内であれば可能となることで、オイル・タイヤ交換等の作業中であっても迅速に給油許可が出せるので作業効率が向上する。給油許可専用のスタッフを事務所内に常駐させる必要がなくなることで、給油許可以外の業務に従事させることができるなど人時生産性の向上による省力化が可能となる。

価格と導入費用（目安）

数百万円程度で導入可能。ビーコン等の設置および導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

- メーカーヒアリングによる既存導入事例では、一般的なセルフSSにおいて、1か月あたり0.5人程度の省力化効果が得られた。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

K

オートラベラー

3件

製造業、倉庫業、卸売業、小売業

加工・生産、梱包・加工、
保管・在庫管理

2024年8月15日時点

例えばこんな場面で、

- 製品へのラベル貼付業務において、人による手貼り作業を機械による自動貼り作業にすることで、人員数の削減効果が得られます。さらに人員削減だけではなく、同一時間内での処理数向上効果も得られます。
- 機械による自動貼りにおいては、貼付位置ズレや曲がり・皺が生じることもないので、貼付け品質不良は発生せず、再作業および確認行程も不要となります。

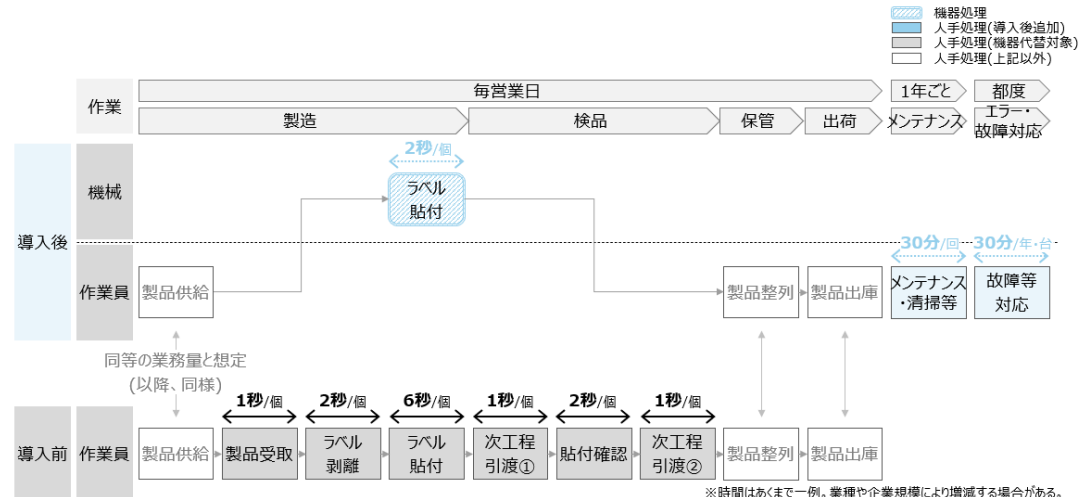
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていたラベル貼付業務に機器を導入することで、ラベル貼付や検品業務の削減が可能。



製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

K

オートラベラー

3件

製造業、倉庫業、卸売業、小売業

加工・生産、梱包・加工、
保管・在庫管理

2024年8月15日時点

製品カテゴリの概要

製品、製品パッケージ、またはパッケージ資材に粘着ラベル（シール）を自動的に貼り付ける装置。

主に利用が想定される中小企業

製品（製品パッケージ、パッケージ資材を含む）へのラベル貼付け作業を行う事業者。

省力化効果

製品へのラベル貼付業務において、人による手貼り作業を機械による自動貼り作業にすることで、同一数を同一時間で処理するのに必要な人員数の削減効果が得られる。さらに人員削減だけでなく、同一時間内での処理数向上効果も得られる。また、手貼り作業で発生してしまうラベル貼付品質のバラつきも、自動貼り作業においては発生せず、確認工程が不要となるため、確認用人員を省く効果が得られる。

価格と導入費用（目安）

数百万円程度で導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

- 手貼り作業には10秒/枚程度の時間を要していたが、自動貼り機では完全自動となり、さらに機械による作業時間も2秒/枚程度に短縮される。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

L

飲料補充ロボ

0件

小売業

飲料補充業務

2024年8月15日時点

例えばこんな場面で、

- 小売店舗のバックヤードにおける商品棚への飲料補充業務を機器が代替することで、大幅な省力化効果が見込めます。
- バックヤード業務をロボットが行うことで、人は接客業務に注力することができます。

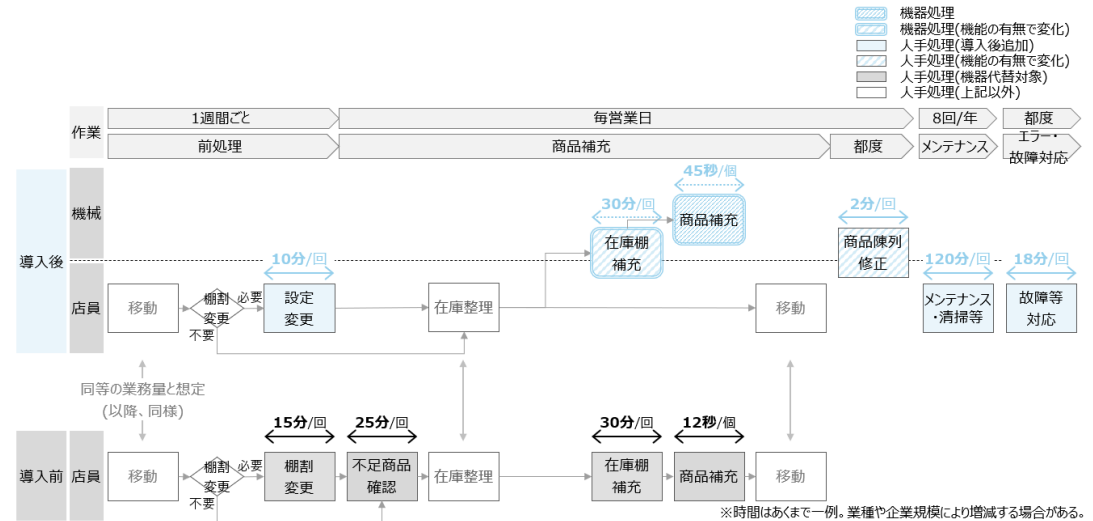
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化 (例)

手作業で行っていた飲料陳列業務に機器を導入することで、業務量の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
L	飲料補充ロボ	0件	小売業	飲料補充業務
2024年8月15日時点				

製品カテゴリの概要

小売店舗のバックヤードにおける商品棚への飲料補充業務を行うロボット。

主に利用が想定される中小企業

バックヤードにおいて商品棚への飲料補充業務を行う事業者。

省力化効果

小売店舗のバックヤードにおける商品棚への飲料補充業務を機器が代替することで、大幅な省力化効果が見込める。また、商品棚への商品補充だけでなく、倉庫から補充棚への陳列も同時に行える製品もあり、より大きな省力化効果が見込める。

価格と導入費用（目安）

数百万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

- 様々なサイズの飲料陳列を自動で行うことができ、限られた人材を接客等の他業務に集中させることができる。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

製品カテゴリ

登録製品数

M

デジタル紙面色校正装置 (グラフィア・紙器パッケージ用デジタルプルーフ)

0件

印刷・同関連業

印刷

2024年8月15日時点

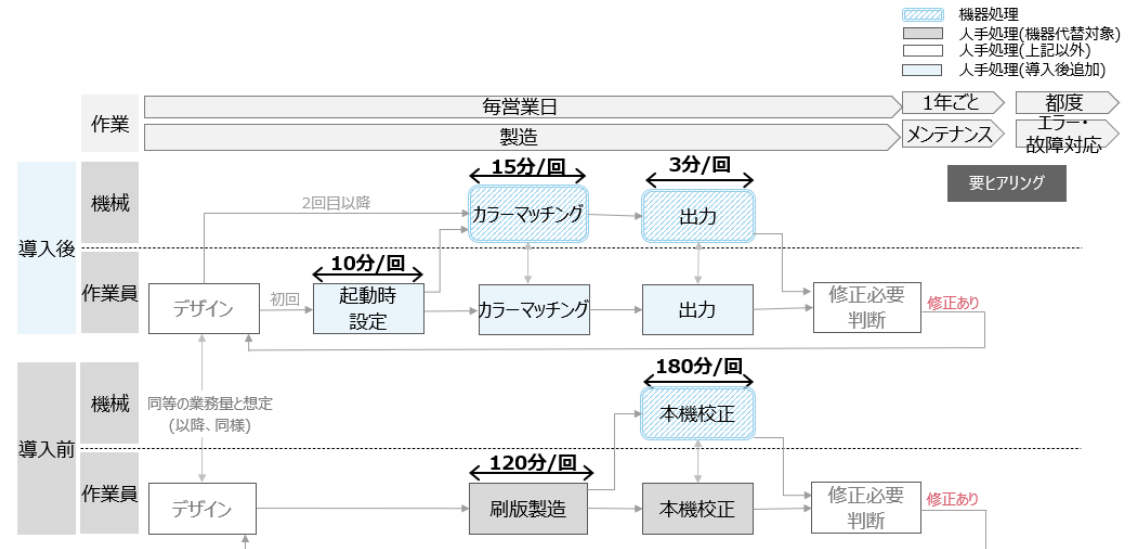
例えばこんな場面で、

- 従来製版、校正・本機印刷で校正していた重労働作業について大幅な省力化効果が見込めます。
- カーボンニュートラルな校正システムなのでCO2排出削減にも繋がります。
- デジタルプルーフシステムにより経験の浅い人でも校正製造業務ができ、生産性の向上が見込めます。

活用イメージ

業務プロセスの変化 (例)

従来本機校正だった色校正業務に機器を導入することで、刷版製造や本機設定の削減が可能。



製品カテゴリ

登録製品数

M

デジタル紙面色校正装置 (グラビア・紙器パッケージ用デジタルプルーフ)

0件

印刷・同関連業

印刷

2024年8月15日時点

製品カテゴリの概要

グラビア（食品包装パッケージ等のフィルム印刷）、商品箱等の紙器パッケージ印刷の色校正を行うための印刷装置。

主に利用が想定される中小企業

印刷・同関連業務を行う事業者。

省力化効果

従来製版、校正・本機印刷で校正していた重労働作業の省力化を実現する事が出来る。作業時間が短縮化することで従業員がより付加価値の高い仕事に従事することができるなど、人事生産性の向上による省力化が可能となる。

価格と導入費用（目安）

数百万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

従来までベテランの社員でしか出来なかった校正製造業務が、デジタルプルーフシステムにより経験が浅い社員でもできるようになり、生産性の向上が見込める。

またカーボンニュートラルな校正システムなのでCO2排出削減にも繋がる。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

N

測量機 (自動視準・自動追尾機能付き
高機能トータルステーション)

0件

建設業、専門・技術サービス業

調査・測量、施工、検査

2024年8月15日時点

例えばこんな場面で、

- 測量業務において、作業者による遠隔操作、内蔵センサーによる追尾や視準が自動になり、ノンプリズム機能（ターゲットのプリズム不要）となるなど、省力化が見込めます。
- 従来まで2名以上で行っていた測量業務において、同製品の持つ機能により作業者が1名に削減され、自動的にターゲットを追尾・視準して測量することができるようになり、作業工数の削減が見込めます。

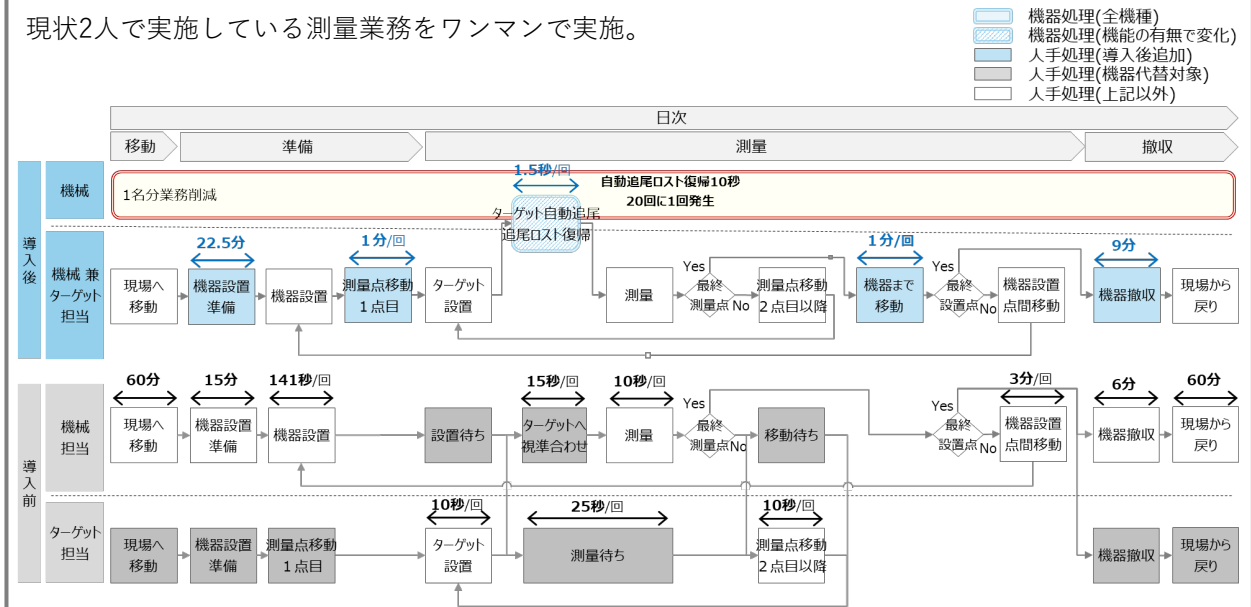
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化 (例)

動視準、自動追尾、遠隔操作機能を有するトータルステーションを導入することで、
現状2人で実施している測量業務をワンマンで実施。



製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

N

測量機（自動視準・自動追尾機能付き
高機能トータルステーション）

0件

建設業、専門・技術サービス業

調査・測量、施工、検査

2024年8月15日時点

製品カテゴリの概要

トータルステーション（水平角と鉛直角を計測する経緯儀に、測距機能が内蔵された測量機、以下TS）のうち、ノンプリズム、モータードライブ、遠隔操作、自動視準、自動追尾などの省力化を実現する機能を有している測量機。

活用事例・ポイント

作業者による遠隔操作、内蔵センサーによる追尾や視準が自動になり、ノンプリズム機能（ターゲットのプリズム不要）となるなど、様々な省力化を実現する機能が織り込まれており、作業工数や時間の削減による省力化を実現している。

主に利用が想定される中小企業

測量、建設、土木関連の事業者。

省力化効果

平均的な現場における1回の測量作業においては、本装置導入前は2名以上がTS側と測量したい点側に分かれて、ターゲットの設置、TSによる視準、測量、次の測量点へ移動を繰り返した後、TSの設置場所を移動して同じ作業を繰り返し、現場に必要な点をすべて測量することになるが、導入後はTSの持つ機能により作業者が1名に削減され、自動的にターゲットを追尾・視準して測量することができるようになる。

価格と導入費用（目安）

数百万円程度で導入可能。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

0

丁合機

0件

製造業、倉庫業、卸売業、小売業

加工・生産、梱包・加工、出荷、販売・納品

2024年8月15日時点

例えばこんな場面で、

- チラシやカタログ、取扱説明書、帳票等の様々な用紙を高速でピックアップすることができます。
- 従来まで主に手作業で行われていた用紙のピックアップ作業において、本機器を導入することで大幅な省力化が見込めます。
- 手作業でピックアップを行う場合、生産性が属人的となり安定した生産力を保つ事が課題でしたが、本機器を導入することで省力化に加えて生産性の安定を見込むことができます。

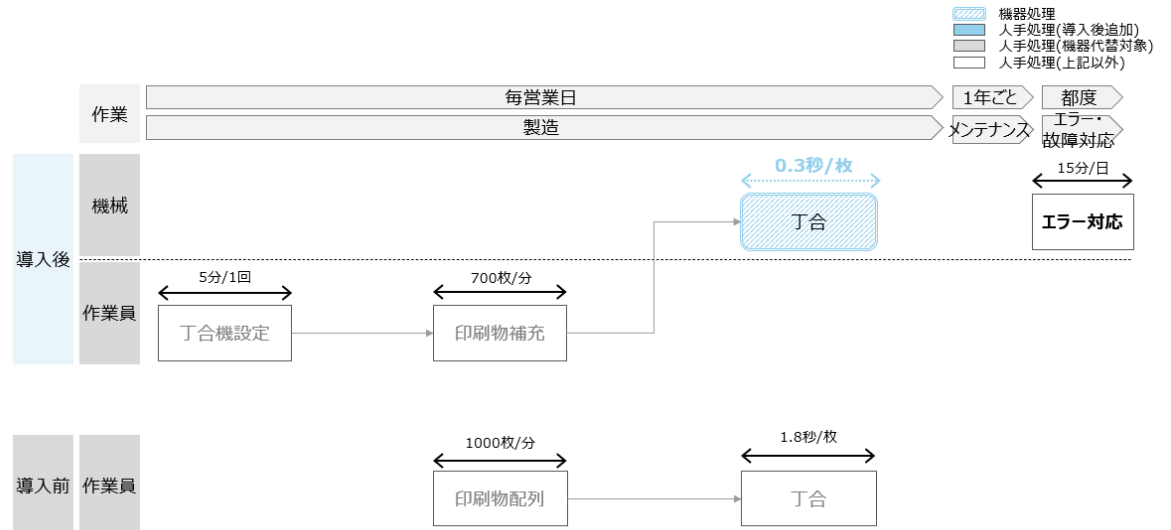
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化 (例)

手作業で行っていた丁合作業に機器を導入することで、業務の削減が可能。



※時間はあくまで一例。業種や企業規模により増減する場合がある。

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

0 丁合機 0件 製造業、倉庫業、卸売業、小売業

2024年8月15日時点

加工・生産、梱包・加工、
出荷、販売・納品

製品カテゴリの概要

チラシやカタログ、取扱説明書、帳票等の様々な用紙を高速でピックアップする事ができる機械。

主に利用が想定される中小企業

印刷・同関連業務を行う事業者。

省力化効果

シート用紙や冊子等、多様な形態の用紙をピックアップする作業は主に手作業であり、生産性は低く、多くの人数を必要とする。丁合機を導入することで、例えば30,000枚のチラシを手作業でピックアップする場合、900分の作業が、150分に短縮される。

価格と導入費用（目安）

数百万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

手作業でピックアップを行う場合、生産性が属人的である為、安定した生産力を保つ事が難しいが、丁合機を導入することで大幅な省力化および生産性の安定を見込むことができる。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

P

印刷用紙高積装置

0件

印刷・同関連業

印刷

2024年8月15日時点

例えばこんな場面で、

- 紙積みでの作業負荷軽減により、身体への負担を大幅に削減します。
- 1日に印刷機一台当たり10tを超える紙積み作業を装置が補助することで大幅な省力化効果が見込めます。
- 本機器の導入により、用紙積換えの負荷軽減に加え、様々な種類の用紙を揃える専門技術が不要となり生産性の向上が見込めます。

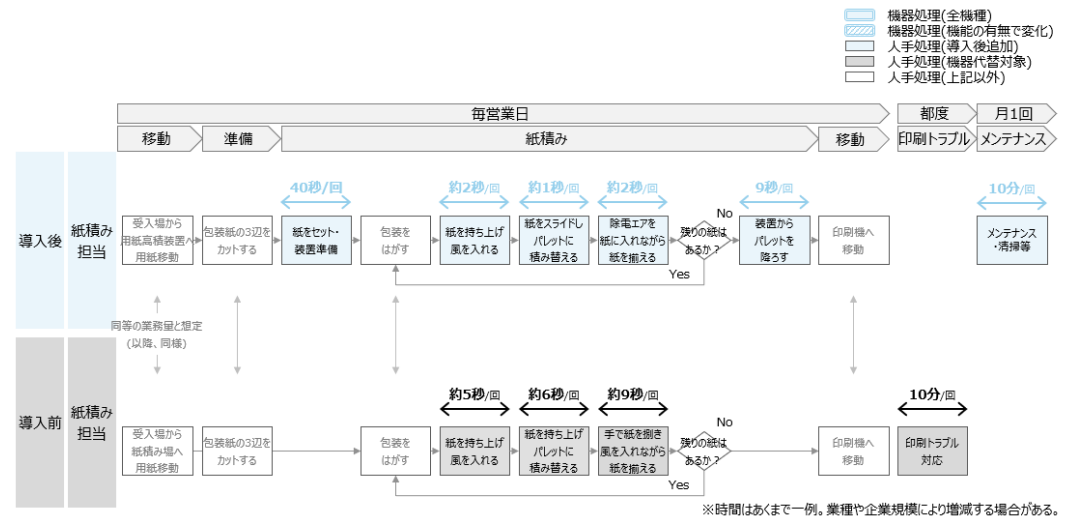
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた紙積み作業に装置を導入することで、業務負荷軽減及び生産性の向上に繋がる。



製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

P

印刷用紙高積装置

0件

印刷・同関連業

印刷

2024年8月15日時点

製品カテゴリの概要

印刷前の紙積みにおけるワンプ剥き作業・反転作業・検品作業において、作業を省力化し効率的に行う装置。

主に利用が想定される中小企業

印刷・同関連業務を行う事業者。

省力化効果

従来の手積みでの重労働な紙積み作業を装置の活用により、労働負荷の軽減と作業効率化を実現する。
また、手積み作業で必要であった熟練技術も不要となる。

価格と導入費用（目安）

数百万～一千数百万円程度から導入可能。
基本的に設置後すぐに使用可能。

活用事例・ポイント

オペレーターから紙積み作業を無くすもしくは削減することで、印刷業務に注力できる。また、印刷時のトラブル減少により、紙・インク・時間が削減でき生産性の向上に貢献する。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

Q

インキ自動計量装置

0件

印刷・同関連業

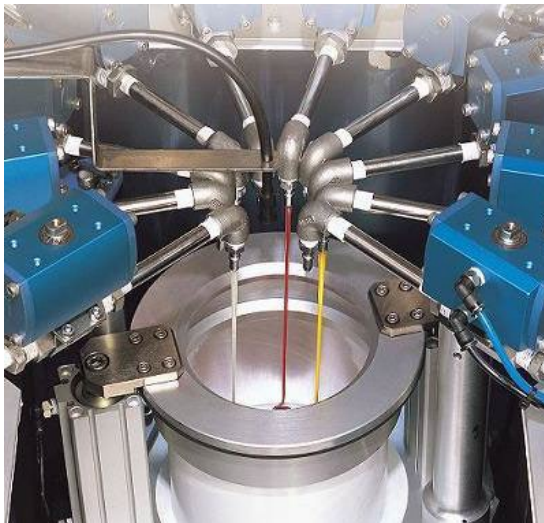
印刷

2024年8月15日時点

例えばこんな場面で、

- 経験に基づいた手作業が必要とされ多大な時間と労力を要していた指定色のインキ作成業務を自動化することで、大幅な生産性向上を図ることができます。
- インキを計量する職人やオペレーター人員が確保しづらい中でも、短納期・小ロットでの指定色印刷の発注対応が行いやすくなります。

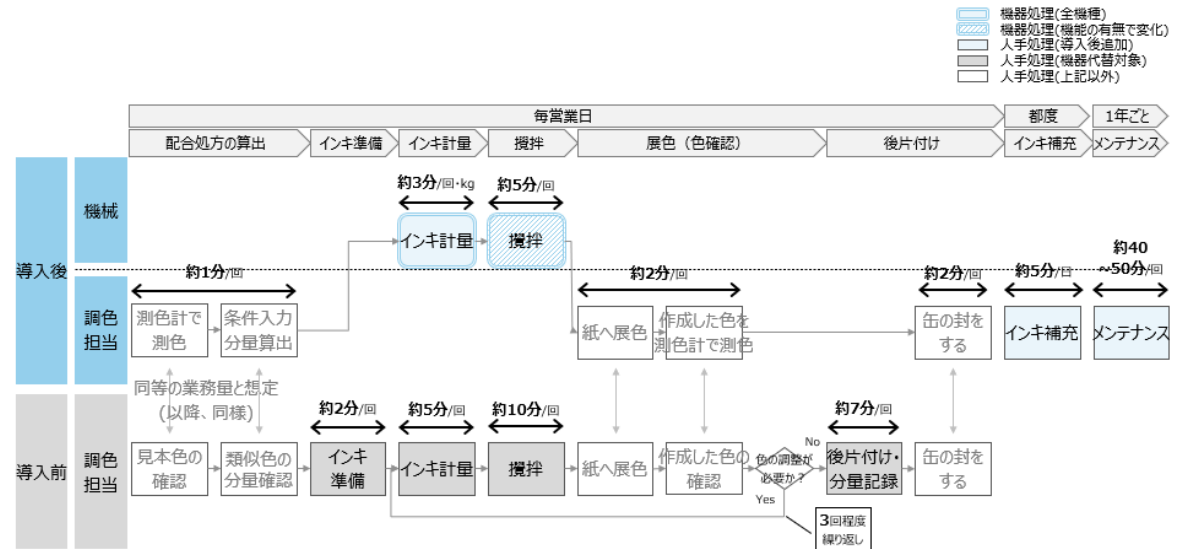
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

インキ自動計量装置を導入することで、手作業で行っていたインキ調色業務の削減が可能。



製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

Q

インキ自動計量装置

0件

印刷・同関連業

印刷

2024年8月15日時点

製品カテゴリの概要

印刷に使用する特色インキ作成を行う装置であり、市販されているインキ各色から、配合レシピに基づいたインキ必要量を自動的に計量し吐出する装置。

主に利用が想定される中小企業

印刷・同関連業務を行う事業者。

省力化効果

指定された色のインキ作成は、経験に基づいた手作業での作業であったが、本装置導入による自動化により、大幅な生産性向上を図ることができる。

価格と導入費用（目安）

1,300万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

熟練作業員の経験則によるインキの手動計量を自動計量することで、計量作業から解放され、また、熟練作業員の高齢化に伴う、技能承継の機械化が可能となる。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

R

段ボール製箱機

0件

製造業

加工・生産

2024年8月15日時点

例えばこんな場面で、

- 段ボールシートを段ボール箱に加工する業務における断裁機のセット替えや溝切機のセット等、危険を伴う重労働について本機器を活用することで大幅な省力化が見込めます。
- 従来までは1枚ずつ手作業で行っていた給紙作業も、本機器では段ボール紙を積み上げておけば自動的に給紙されての加工が可能となり、生産性の向上が見込めます。

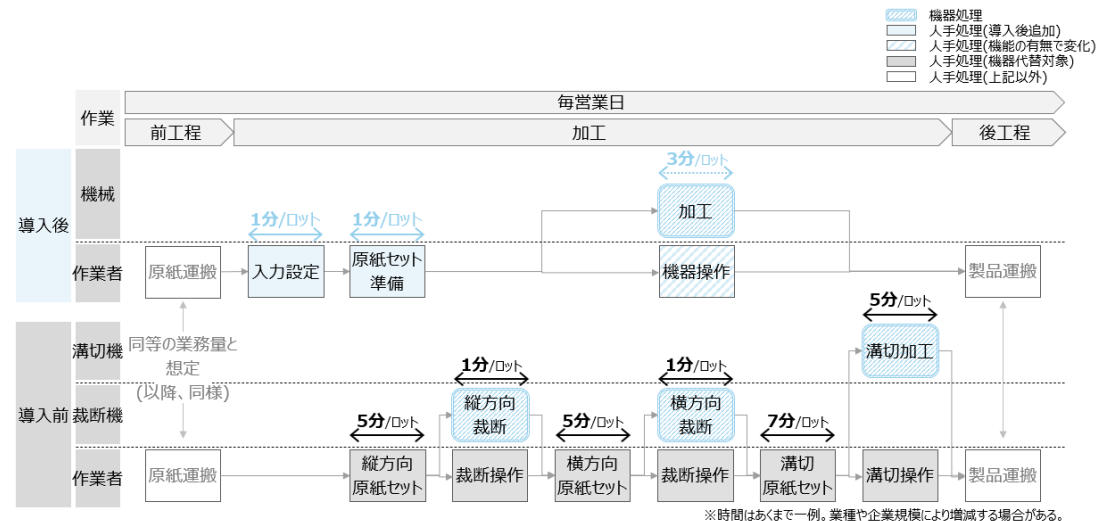
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化 (例)

従来機種で行っていた段ボールの裁断・溝切業務に機器を導入することで、業務量の削減が可能。



製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

R

段ボール製箱機

0件

製造業

加工・生産

2024年8月15日時点

製品カテゴリの概要

段ボールシートを加工して様々な箱を作る際に、従来はまず断裁機にて縦方向の断裁と罫線入れを行った後、横方向の断裁と罫線入れをしてから溝切機にて6mmの溝を切る工程が必要である。これら一連の作業を1回の工程で執り行う事が可能な装置。

主に利用が想定される中小企業

段ボールシートを段ボール箱に加工する事業者。

省力化効果

例えば、1日に600個の多様な箱を製造する場合、従来手法では8時間を必要とするが、本機器を導入することで、1時間40分で同量の作業が可能となる。

価格と導入費用（目安）

製品の規模により異なるが、千六百万円程度から導入可能。導入にあたり機械の設置工事等が必要。

活用事例・ポイント

段ボールシートを段ボール箱に加工する業務における断裁機のセット替えや溝切機のセット等、危険を伴う重労働について本機器を活用することで大幅な省力化が見込める。また、従来までは1枚ずつ手作業で行っていた給紙作業も、本機器では段ボール紙を積み上げておけば自動的に給紙されての加工が可能となり、生産性の向上が見込める。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

S

近赤外線センサ式
プラスチック材質選別機

0件

製造業、廃棄物処理業、卸売業

分別業務

2024年8月15日時点

例えばこんな場面で、

- 様々な材質が混合して排出されている廃プラスチックの中から近赤外線センサにより特定材質の破片を検知し、エアジェットで選別することで、プラスチックの検知・選別に掛かる人手・時間の大幅な短縮が見込めます。
- プラスチックの識別業務に加えて、従来手作業で分別していた廃棄物の分離・回収を機械が代替するため、大幅な省力化効果が見込めます。

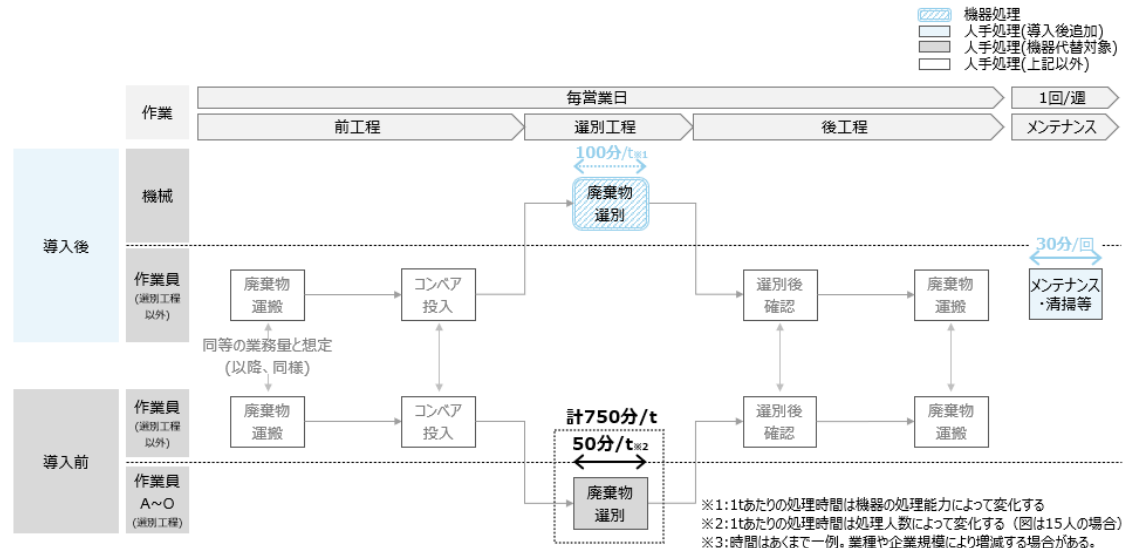
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた廃棄物選別業務に機器を導入することで、業務量の削減が可能。



製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

S

近赤外線センサ式
プラスチック材質選別機

0件

製造業、廃棄物処理業、卸売業

分別業務

2024年8月15日時点

製品カテゴリの概要

主に廃プラスチックで構成される混合廃棄物のリサイクルを効率化する目的に使用する機械であり、従来熟練作業員の目視で行われていたプラスチックの識別を近赤外線を用いて吸収スペクトルの差により識別する機能および従来手作業で分別していた廃棄物の分離・回収をエアジェットにより代替する機能の両方を具備する機械。

主に利用が想定される中小企業

廃棄物の中間処理業務を行う事業者。

省力化効果

例えば、1.2t/h程度の廃棄物処理を行うために、従来までは15人程度の人員が必要とされてきたが、機種によっては、1台の機器で代替することができるようになる（投入や前後のチェックに数名程度必要な場合がある）。

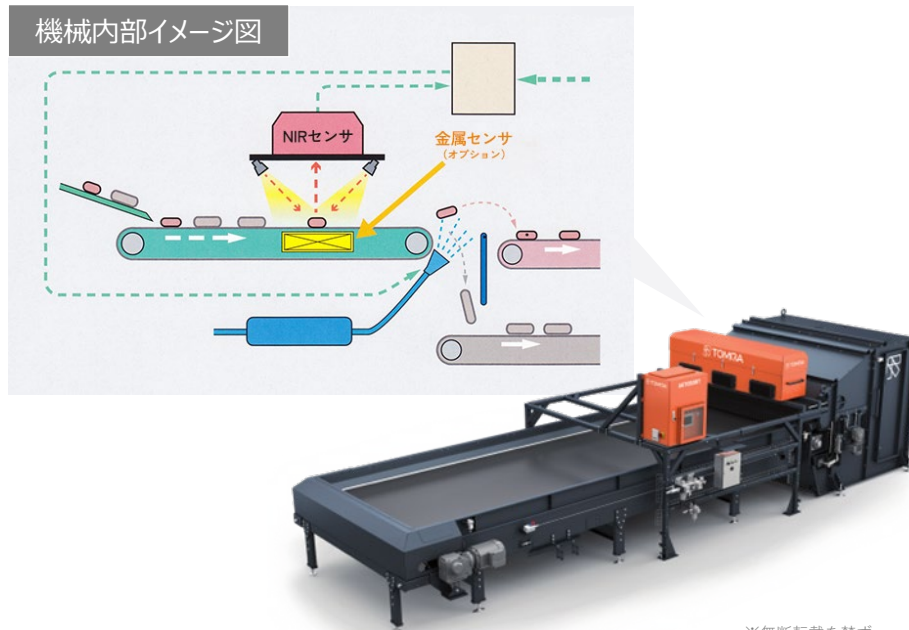
価格と導入費用（目安）

製品の規模により大きく異なるが、三千万円程度から導入可能。導入にあたり機械の設置工事等が必要。

活用事例・ポイント

様々な材質が混合して排出されている廃プラスチックの中から近赤外線センサにより特定材質の破片を検知し、エアジェットで選別することで、特定材質のプラスチックの検知・選別に掛かる人手・時間を大幅に短縮できる。

（製品イメージ）（例）



製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

T

デジタル加飾機

0件

製造業

加工・生産

2024年8月15日時点

例えばこんな場面で、

- デジタル加飾システムは、従来のアナログシステムと比較して中間製造工程が無いため、作業工数省力化および中間生成廃材の削減も見込めます。
- 従来までアナログ方式が主流であったニス・箔押し等の後加工において、本機器を活用することでスキルレスで印刷物にインパクトのある付加価値を付けられるようになり、生産性の向上が見込めます。

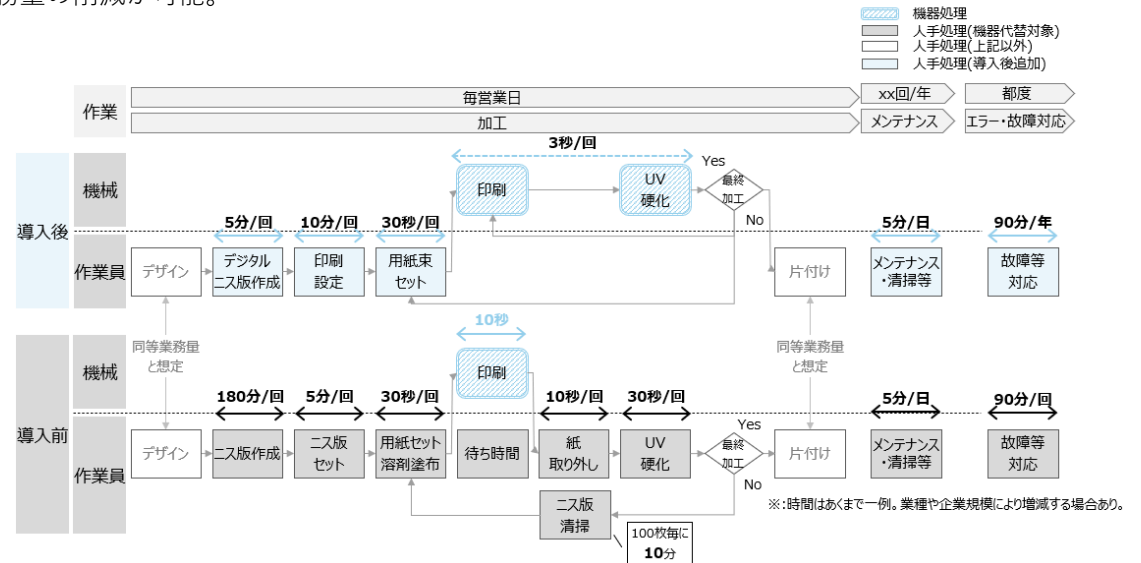
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化 (例)

従来のスクリーン印刷機を用いていたUVニス加工業務に機器を導入することで業務量の削減が可能。



製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

T

デジタル加飾機

0件

製造業

加工・生産

2024年8月15日時点

製品カテゴリの概要

デジタル加飾とは、従来の印刷版を用いたり、スクリーン印刷や金型を使わずUVインクジェットプリント技術を使用して、デジタルデータからダイレクトに紙等に印刷するスポットニスやデジタル箔の技術である。その技術を応用した印刷機がデジタル加飾機である。

主に利用が想定される中小企業

印刷・同関連業を行う事業者。

省力化効果

デジタル加飾システムは、従来のアナログシステムと比較して中間製造工程が無いいため、①作業工数省力化②中間生成廃材の削減というメリットがある。
加飾作業で一番時間を要する箔押の省力化比較では、ひとつの業務あたり約5時間45分の省力化が見込める。

価格と導入費用（目安）

三千万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

ニス・箔押し等の後加工はアナログ方式が主流であったが、近年環境へ配慮したデジタル加飾システムへの需要が高まっている。スキルレスで印刷物にインパクトのある付加価値を付けられるため、人手不足解消も見込まれる。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

U

印刷紙面検査装置

0件

製造業

検査

2024年8月15日時点

例えばこんな場面で、

- 印刷物の品質要求が高まり、全数検査のエビデンスを求められることが増えてきた近年の市場動向に対しても、本機器を導入することで対応しやすくなります。
- 精神的にも肉体的にも負担の大きい労働であった検査作業を自動化することで、作業負荷が大幅に低減されるだけでなく、社員の定着や生産性の向上が見込めます。

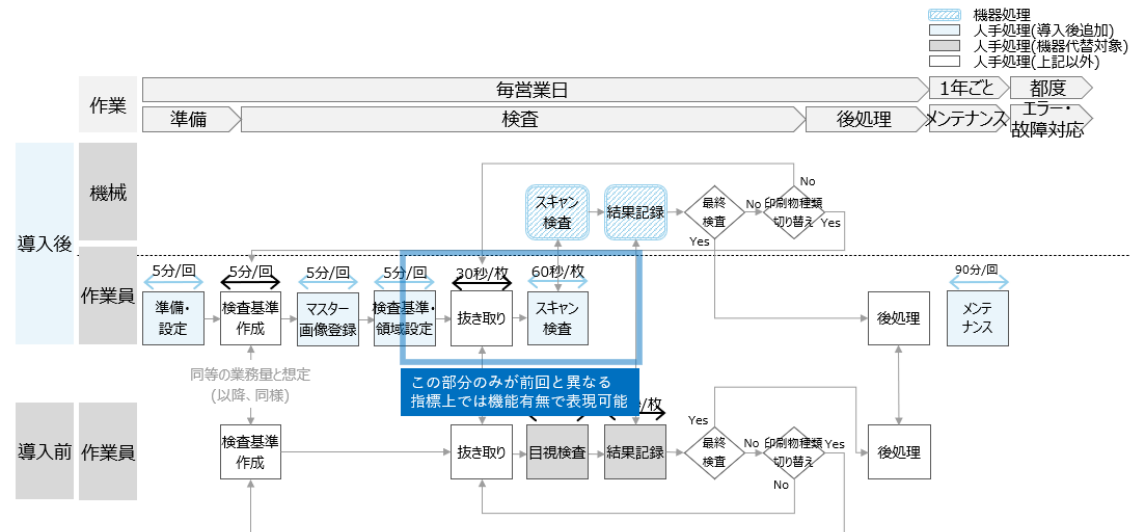
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化 (例)

目視で行っていた印刷紙面検査に機器を導入することで、業務の削減が可能。



製品カテゴリ

登録製品数 対象業種

対象業務プロセス

U

印刷紙面検査装置

0件

製造業

検査

2024年8月15日時点

製品カテゴリの概要

印刷会社において、納品物である印刷物の品質要求は高く、発注者要求として検査要件がある。検査には抜き取り検査と全品検査があるが、検査作業は印刷された製品を目視検品しなければならない。この検査作業を自動的に行う装置が印刷検査装置である。

主に利用が想定される中小企業

印刷・同関連業を行う事業者。

省力化効果

印刷機は1時間に10,000枚以上で印刷することが出来るが、1,000枚に1~2枚程度印刷中の用紙を抜取り、印刷物に連続的な異常が発生していないかを目視確認するのが通例となっている。本機器の導入により、この作業に要する時間を実質「0」とすることが可能となる。

価格と導入費用（目安）

千五百万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

検査作業は非常に長い時間、神経を使い、目を酷使し、精神的にも肉体的にも負担の大きい労働である。このような作業を行う社員の確保は難しく、印刷会社の収益率を圧迫するものである。印刷紙面検査装置はこのような作業を省力化し、作業負荷が大幅に低減されるだけでなく社員の定着や生産性の向上に寄与するものである。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず